

「令和4年度市民公益活動担い手発掘・育成プログラム実施業務委託に係る提案競技」に係る質問・回答表

令和4年4月26日 市民局コミュニティ推進部市民公益活動推進課

No.	対象箇所	質問内容	回答
1	【実施要領】 P1 4 総事業費	昨年度の5,178千円から半額以下の予算となっております。減額の理由を教えてください。	事業目的に対して、より効果が高いものに内容を絞り込むとともに、参加しやすいプログラムになるよう実施期間の短縮を行ったためです。
2	【仕様書】 P1 6 業務内容	入門編がなくなって、昨年度の実践編のみの内容となっています。プログラムの一部縮小の理由を教えてください。	事業目的に対して、より効果が高いものに内容を絞り込んだためです。
3	—	昨年度の実績を参考にしたいのですがどこに掲載されているか教えてください。	福岡市のホームページに掲載しています。 https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/koeki/life/collective_fukuoka_plus/Collective-Fukuoka-Plus_.html
4	【実施要領】 P4 (2) 提出書類 ②見積書	・経費項目の指定はあるか。 ・事業費の対象外となる経費はあるか。	経費項目の指定はありません。 事業費の対象外となる経費としては食糧費・宿泊費などが考えられますが、その他疑義がある場合は市と協議の上決定することとします。
5	【仕様書】 P2 ①対象者	・「受講後に実際に活動をしたい」とは、既存の組織や活動への参加を含めて考えて構わないか	問題ありません。
6	【仕様書】 P2 ④実施時期	・②のプログラム内容を約2カ月間で実施する想定か（短期すぎないか）	仕様書に記載のとおり8月～9月頃としますが、この期間内に実施が難しい場合は、市と協議の上実施期間を決定することとします。
7	【仕様書】 P2 ⑤実施方法・回数・時間等	・あすみんの会議室を優先的に予約できるか（6月初旬契約で、8月予約が可能か） ・総時間数が15時間程度であれば、講座の回数や1回あたりの時間は自由に組んで良いか ・各チームでの会議や調査等の時間は総時間数に含めて良いか	あすみんを使用する場合は、福岡市で予約している日程で実施検討していただく想定ですが、それ以外は事業者においてあすみんやその他の会場の予約を行っていただきます。 講座の回数や時間については、総時間の範囲内で自由に組んで構いません。 各チームでの会議や調査等の時間については、総時間に含めて構いませんが、市と協議の上決定することとします。
8	【仕様書】 P3 (2) 伴走支援 ②伴走支援の内容	・伴走支援の期間や回数は自由に組んで良いか	自由に組んで構いませんが、参加者に応じて、アクションプランが実施できる十分な期間や回数を設けることとします。
9	【仕様書】 P3 (4) 情報発信	・ロゴマーク及びロゴタイプは、今年度の事業にのみ用いるものか。次年度以降も市や関係者が使用する可能性があるか ・チラシの作成は必要か	事業終了後も、福岡市が事業報告等において使用する可能性があります。 対象者に対してより効果的な広報手段が考えられる場合は、チラシの作成は必須ではありません。

「令和4年度市民公益活動担い手発掘・育成プログラム実施業務委託に係る提案競技」に係る質問・回答表

令和4年4月26日 市民局コミュニティ推進部市民公益活動推進課

No.	対象箇所	質問内容	回答
10	【仕様書】 P3 7期待する効果 ②サマープログラム・ 伴走支援	・「プロジェクトの創出」は、参加者が新たな組織を立ち上げる必要があるか。既存の組織内でプロジェクトを創出しても良いか	既存の組織内でプロジェクトを創出して問題ありません。
11	全体	・「市民公益活動」とは、市条例にある「営利を目的としない活動」に限られるのか。ソーシャルビジネス事業は含まれないのか	「市民公益活動」の定義については福岡市市民公益活動推進条例第2条第1号のとおりです。 プログラムの開発にあたりソーシャルビジネスの要素が入ることを妨げるものではありませんが、本事業の目的に照らし合わせてプログラムを実施することとします。
12	【実施要領】 P4 10企画提案書等の提出 (2) 提出書類①	「企画提案書に記載する内容については別紙1に留意してください」の別紙1は何を指していますか。	実施要領のP7になります。
13	【実施要領】 P1 4総事業費	参加費を無料ではなく、有料での開催で認められる場合はどんな費目だと開催できますか？ 意図としては実績を重ねる中で、無料開催だと参加する価値が低いと判断して、ある程度の参加費があるのに参加したいと思う層が一定数いる為。料金は利益としてではなく、あくまで参加者に負担に感じない費用を想定。	参加費は無料とする予定です。 食糧費など、実費を負担してもらおう意味での参加費であれば構いません。
14	【仕様書】 P2 6業務内容 (1) サマープログラム ④実施時期等	講座の開催時期の8月～9月頃と書いてあるが、どのくらい開催時期にバッファがあるか？ フィールドワークなどをより充実させる為、開催時期をできるだけ幅を持たせたい為。	8月～9月頃を想定していますが、プログラムの充実に資するなど当該期間以外での実施が必要と考えられる場合は、市と協議の上決定することとします。
15	【仕様書】 P2 6業務内容 (1) サマープログラム ②プログラム内容	フィールドワーク先で、適任者がいた場合は福岡市外でも依頼してよいのか？例えば、福津市の市民活動実践者を想定。	原則、講師や市民公益活動実践者は福岡市内で活動している人を想定しています。ただし、「福岡市外で活動している人」を選任することを妨げるものではありません。 なお、選任については、全体のバランス等を考慮し、市と受託者の協議の上決定することとします。
16	【仕様書】 P3 7期待する効果 ②サマープログラム・ 伴走支援	創出されたプロジェクトは、自社のプラットフォーム（プロジェクトフレームワーク、自社HP、広報支援など）を利用して創出された場合でも件数に該当するか？	仕様書7-②に記載のとおりです。
17	【仕様書】 P3 7期待する効果 ②サマープログラム・ 伴走支援	社会・地域課題解決プロジェクトとして、例えばまちあるきプロジェクトとして創出された場合は件数に該当するか？	該当すると考えられます。 なお、成果指標の考え方は、仕様書7-②に記載のとおりです。